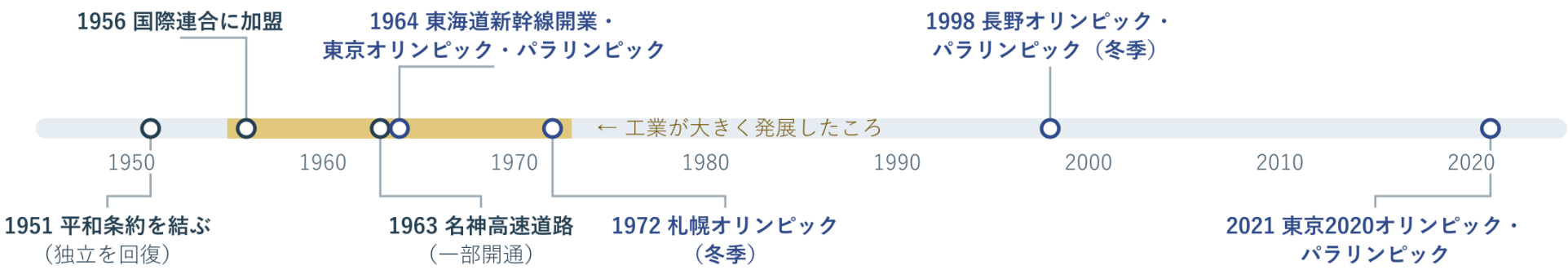
東京オリンピック・パラリンピックと暮らしの変化

戦後、国民の暮らしと日本の国際社会での役割は、どのように変わったか



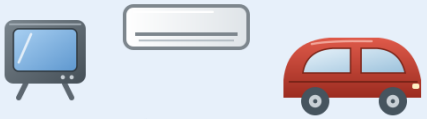
家庭に広がった電化製品など（広がり始めたころの目安）

1950年代後半〜



白黒テレビ　電気洗濯機　電気冷蔵庫

1960年代後半〜



カラーテレビ　クーラー　自動車

家事の時間が短くなり、くらしが便利になった。

工業が発展し、国民の生活が向上した。

1964年の東京大会のころ



東海道新幹線

東京〜新大阪（1964年10月）

高速道路

名神（1963年、一部開通）

アジアで初めてのオリンピック。

続いて第2回パラリンピックも東京で開かれた。
日本は国際社会に復帰し、スポーツを通して
世界の平和に役立とうとしてきた。

※ 電化製品などの年代は、家庭に広がり始めたころの大まかな目安（実測値ではない）。東京2020大会は2021年に開かれた。